



令和5年度入社式・辞令交付式



CONTENTS

■表紙 令和5年度入社式・辞令交付式	1	■特集	7
■社長挨拶	2	□『組織開発』	
■尾池副社長/松本専務挨拶	3	■TOPICS	8
第51期 経営指針/経営目標		□令和5年度『入社式・辞令交付式』	
■3事業部より		□春の叙勲『瑞宝双光章』を受章	
□建物総合サービス事業部	4	□松屋別館リニューアルオープン	
□総合人材サービス事業部	5	□警備業功労者表彰	
□コントラクトフードサービス事業部	6	□編集後記	

御 挨拶



九綜グループ

九州総合サービス株式会社
熊本消毒サービス株式会社
尾池管財株式会社



代表取締役 尾池 洋子

初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との戦いも、マスクの着用ルールが緩和され、インフルエンザと同じ5類への移行など、ようやく一つの区切りを迎えることとなりました。度重なる活動制限は、経済活動に多くの教訓をもたらしましたが、私達はウィズコロナを意識しつつ、弊社51期スタートにあたり、再び成長軌道へと戻していけるよう挑戦し続けなければなりません。

慢性的な人手不足に加え、ロシアによるウクライナ侵略、急激な円安によるエネルギー・食料品価格の高騰など、弊社を取り巻く経営環境は、依然として厳しい環境が続いておりますが、一つ一つ粘り強く課題を克服してまいります。

まずは、この3年間、コロナによって疎遠化した「人との関係性」に焦点を当て、エンゲージメントを高める*『組織開発』に尽力してまいります。

*【組織開発とは、同僚、上司と部下、他組織の人（顧客）など、その関係性の改善に取り組み、人と人の関係性の変化と相互作用によって組織を変革させていくという考え方。】

具体的には「①問題の見える化」「②対話」「③未来作り」の3ステップを着実に改善し定着させます。

① 見える化 ～組織の問題を「可視化」する～

- ・ E S（社員満足度）：エンゲージメントなど従業員サーベイ（実態・意識調査）による可視化
- ・ ありたいチームの姿と現状のチームの姿のギャップ分析

② 対話 ～「可視化」された問題について真剣に対話する～

- ・ 仮説を立て、対話によって、問題発生の原因を探る
- ・ どうして問題が発生してしまっているのか
- ・ どうして認識の相違が起きてしまっているのか

③ 未来作り ～これからどうするのかを決める～

- ・ 目標達成時期を決めて、どのように改善するか、具体的なアクションを決める
- ・ ソフト面の改善取り組み内容とサイクル、サポート内容やフォローするタイミングを設定する
- ・ ハード面のマニュアル整備・見直しなどのルール改善と管理職の役割を明確化

組織開発では、特に対話が重要となります。労働集約型産業の弊社にとって、この取り組みを進めることで、課題を改善し、社内外の一体化を生み、弊社の力を更に総合的に向上できるよう挑戦してまいります。皆様方におかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げ、弊社第51期スタートのご挨拶とさせていただきます。

御挨拶

第51期を迎え、経営目標にダイバーシティの推進、人生百年時代の働き方促進を新たに追加いたしました。コロナ禍を乗り越え、新しい時代を迎えた今、多様なバックグラウンドを持つ人材を登用することで組織の生産性や競争力を高めるとともに、すべての人が健やかに元気に活躍できる会社、そして安心して長く働き続けられる会社を目指してまいります。皆様のご協力・ご尽力賜りますようお願いいたします。

取締役副社長 尾池 能

御挨拶

弊社は6月1日より第51期がスタートいたしました。新型コロナウイルス感染症も2類から5類へ移行し、コロナ禍も過ぎ去りつつあります。生活様式も平常時に戻り、世の中も活発化しております。ここで我々の仕事の役割を再認識し、今の時代だからこそ、無くてはならない企業という認識の基に、人材（人財）が仕事を作る事を理解し「共創」をキーワードに、常に寄り添う心を持ち、オーナーコミュニケーション・現場コミュニケーション・社内コミュニケーションを図り、企業成長の原動力を高めてまいります。

専務取締役 松本 修一

第51期

【経営指針】

- ◇ 業績の向上
- ◇ 活力ある組織・信頼と評価ある組織[コミュニケーションの徹底（礼儀・礼節）]
- ◇ 人財の育成[個が光る社員育成]
- ◇ 変革の時代への迅速なる対応[スピード・顧客（相手）満足度・挑戦]
- ◇ 連続性の堅持[意識の改革（マンネリ化の脱却）・発想の転換（ピンチはチャンス）]

【経営目標】

- ◇ 売上の確保[事業部別及び支店別目標設定の確立]
- ◇ 利益の確保[経費の節減・業務の効率化の徹底]
- ◇ 安全衛生管理（巡回）の徹底
- ◇ 新規事業の開発提案[顧客や社会の問題の発見と解決による新たな価値の創出]
- ◇ SDGs経営の推進[持続可能な地域社会の実現]
- ◇ 人財の育成と登用[ダイバーシティの推進]
- ◇ 人生百年時代の働き方促進[企業の持続的成長に向けて]
- ◇ 健康経営の持続[ウェルビーイングの実現]
- ◇ ISO14001により信頼と評価を獲得
- ◇ 医療関連サービスマークの有効活用[清掃]
- ◇ 個人情報適切な取扱いの確保

第51期人事発令（令和5年6月1日）

○建物総合サービス事業部 部長 伊藤 允二

このたび建物総合サービス事業部部長を拝命しました。近年目まぐるしく変化する環境の中でビルメンテナンス業務を担う私たちは、環境の変化に柔軟に対応し、建築物空間を『生きた空間』にするため、安全で衛生的空間を形成し、快適な環境をお客様に提供し続けことが出来るよう全力を尽くします。皆様のご期待に添えますよう努力いたす所存でございます。

○建物総合サービス事業部 業務部長 河島 睦晃

業務部長拝命に際して、これまでの経験を基にお客様と真摯に向き合い、ご満足いただける仕事に取り組んでまいります。また、チームが組織として最適な状態であることを目指し、微力ではございますが社業発展のため努力いたします。皆様方にお力添えいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

建物総合サービス事業部

令和5年度アビリンピック熊本県大会に出場！

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構主催の障がい者技能競技大会「アビリンピック熊本県大会2023」ビルクリーニング競技が6月24日に開催されました。

本年度より、『A』・『B』競技が開催され、支援学校の生徒達も参加する初めての大会となりました。

これは（一社）熊本県ビルメンテナンス協会の会長である尾池社長が「アビリンピックの目的である

『職業能力の向上を図るとともに企業や社会一般の人々が障がい者雇用に対する理解と認識を深め、雇用の促進を図る』を重視し、支援学校の生徒達にも大会に出場していただき、将来、自信を持って就職し、自立につなげる。また、ビルクリーニングに触れてもらい、ビルメンテナンス業界に興味を持ってもらいたい。」との考えで熊本県との協議を重ね、今回からレベルの違う二つの競技が開催されることになりました。

ビルクリーニング『A』競技には、弊社から2名の選手が出場しました。日々の業務で磨きかけた技能を発揮され、優秀な成績を収められ、佐々木渚さんが銀賞、森田光陽さんが努力賞を受賞しました。



【佐々木渚さん】

◇佐々木渚さん（熊本中央病院勤務）銀賞 受賞

2回目の出場となる今大会は前回大会よりもよい成績を残すことができ、大変嬉しく思います。とても緊張しましたが、大会を楽しむ事ができました。この経験を糧に今後の仕事に生かして頑張っていきたいと思えます。



【森田光陽さん】

◇森田光陽さん（熊本中央病院勤務）努力賞 受賞

今回初めての出場先輩方からご指導いただき、本番では自分の力を出し切る事ができました。この経験を日頃の仕事に活かし、来年は金賞を目指し頑張ります。（伊藤）

1級ビルクリーニング技能士に合格！



【濱田義洋さん】

令和5年3月31日、1級ビルクリーニング技能検定に、濱田義洋さん(ウエルパークまもと勤務)が見事合格しました。◇濱田さん「技術と知識を生かしてお客様のご要望に丁寧に対応し、学んだ清掃技術を後輩のレベルアップのために活用します。」プロとしての高い技術をお客様のために遺憾なく発揮し、実績と信頼を積み重ねてもらう事を期待しております。（伊藤）

（一社）熊本県ビルメンテナンス協会長に尾池千佳子社長が4期目就任！



令和5年一般社団法人熊本県ビルメンテナンス協会通常総会において、尾池千佳子社長が（一社）熊本県ビルメンテナンス協会長に再任されました。任期は2年間で4期連続の大役となります。ビルメンテナンス業は、エッセンシャルワーカーとして社会的役割を担っており、熊本県におけるビルメンテナンス協会のリーダーとして業界の先頭に立って、発展のためご尽力なされますので皆さんも全力で頑張っていきましょう。

総会では、永年勤続に伊豫富幸さん（熊本中央病院勤務）、優良社員に貞元功さん（九州看護福祉大学勤務）が表彰されました。伊豫さんは、設備管理業務に技術を生かし、長い間従事されました。また、貞元さんもコロナ禍の大変な時期に仕事と真摯向き合い従事され、お二人ともお客様の厚い信頼をいただいております。



【貞元功さん】 【伊豫富幸さん】

◇伊豫さん 「長い年月で大変な時もありましたが、常にお客様第一で仕事に取り組んできました。これからも身体に気を付けて頑張ります。」

◇貞元さん 「安全・安心で、快適な空間を提供出来るよう、これからもお客様の為に尽力します。」
今後もお客様満足度を高めるサービスの提供を期待しております。受賞おめでとうございます。（枇杷）

総合人材サービス事業部

『くまもと県民交流館パレア』指定管理者 第3期目スタート！



九綜グループ社内労働安全衛生大会の開催場所である、くまもと県民交流館パレアの指定管理者として、令和5年4月より3期目の再スタートを切りました。熊本地震や新型コロナウイルスの感染拡大など、様々な難局を乗り越え運営してきたことを高く評価していただき、心から喜ぶとともに、この先も初心を忘れず、時代のニーズや県民の皆様からいただいた「声」を大切にし、お客様目線で更なる満足度の向上を図ってまいります。熊本県が掲げる基本理念である、熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を共に目指し、変化し続ける社会の中で、持続可能な「新しいくまもと」を創造するため、「県民の皆さんの自発的で主体的な様々な活動」を応援する拠点施設として努力してまいります。（米岡）

『くまもと森都心プラザ』令和5年度キックオフ懇親会を開催

くまもと森都心プラザ管理運営共同企業体は、開業時より基本コンセプトに「一体化」を掲げ、管理運営をしてまいりました。この度、新型コロナウイルス感染症による行動制限のため自粛していたキックオフ懇親会を4年ぶりに開催いたしました。午前中からボランティア清掃→全体研修会→懇親会と、有意義な一日となりました。新型コロナウイルス感染症により、人と人との繋がりが希薄になった今だからこそ、スタッフ間のコミュニケーションを密にし、更に職場の雰囲気明るく活発にして、連携を深め、「一体化」して、皆様へより温かい対応でサービスの向上に繋げてまいります。（米岡）



【くまもと森都心プラザスタッフ】

熊本市城南地域物産館『火の君マルシェ』夏祭り開催！

8月26日、熊本市城南地域物産館『火の君マルシェ』にて4年ぶりに夏祭りが開催されます。毎年恒例の火の君太鼓や金魚すくいならぬ「野菜すくい」（旬の野菜が景品でもらえます）、人気店「丸重チキン」の店頭販売などの多数のイベントを予定しております。城南町特産のブドウや、旬の果物や新鮮野菜、期間限定のコーヒーソフトクリームも販売します。久しぶりの夏祭り、ご来店を楽しみにしております。火の君マルシェで一緒に盛り上がりましょう！（川原）



【毎年恒例の火の君太鼓の演奏】

玉東町『ゆめ・ステーション・このは』の貸館形態が変更

玉東町木葉駅前活性化施設『ゆめ・ステーション・このは』の貸館形態が、これまでの時間帯貸しから時間貸しに変わりました。1時間からの利用が可能となり、ご利用し易くなりました。また、毎月第3日曜日、朝市（9～11時）を開催しています。皆様ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。（米岡）



舞台照明技術者2級を新たに2名が取得

舞台技術者の林田拓也さん（くまもと森都心プラザ勤務）と吉永栞那さん（くまもと森都心プラザ勤務）が舞台・テレビジョン照明技術者2級を取得しました。照明技術者技能認定とはテレビスタジオなどで役者やアーティストに対し、光を使つての演出効果や映像技術を高める技能を認定する資格です。舞台やテレビ、コンサートなどで照明は必要不可欠であることから、今後もより一層の活躍が期待されます。
◇林田さん「資格を活かし、ホールのご利用者に満足いただける舞台演出に努めてまいります。」
◇吉永さん「今までの経験に資格を加え、これまで以上に業務に励んでまいります。」（米岡）

コントラクトフードサービス事業部

CFS事業部八代エリア係長に廣瀬卓哉さんが就任



令和5年6月1日より、CFS事業部八代エリア担当係長に就任致しました、廣瀬卓哉と申します。これまでは八代市千丁学校給食センターで主任を務めておりました。現場で培った経験を業務に生かしたいと思っております。現場の皆さんに寄り添い、しっかりとコミュニケーションをとり、安全で安心な食の提供に努めてまいります。まだまだ人生経験において若輩者ではありますが、先輩方からご指導いただき、若さとガッツで「八代から熊本を元気に！！」をモットーに頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。(永田)

熊本市立田迎南小学校給食室 業務責任者に坂本鮎美さんが着任



【田迎南小学校スタッフ】

令和5年4月より、熊本市立田迎南小学校給食室の業務責任者に坂本鮎美さんが着任しました。坂本さんは平成31年2月に入社し、日吉共同調理場で約4年間の経験を積み、その間に調理師資格を取得、この度、業務責任者着任となりました。「共同調理場方式と自校方式での違いに戸惑いはありましたが周りの方と協力しながら頑張っています。学校給食は一人の力では出来ない。栄養教諭の先生と田迎南の調理員の皆さんとチーム一丸となって、子どもたちの笑顔のために頑張っていきます！」と照れながらも力強く意気込みを語っていただきました。(米岡)

熊本市学校給食城南共同調理場 業務責任者に岡村賀代さんが就任



【城南共同調理場スタッフ】

令和5年6月より、熊本市学校給食城南共同調理場の業務責任者に岡村賀代さんが就任しました。岡村さんは平成30年9月に入社し、約5年間にわたり城南共同調理場での経験を積みました。調理師資格を取得され、昨年の4月より業務副責任者を務めておりました。調理員からの信頼も厚く、「衛生管理、学校給食調理に関する知識・経験を活かし安全で安心なおいしい給食提供に努めております。給食を楽しみに学校に来ていると生徒の皆さんに思ってもらえるよう頑張ります！」と笑顔で語っていただきました。(永田)

第9回 しらかわのほとり・こども食堂を開催

令和4年10月よりスタートしたこども食堂も、第9回を迎えることができました。熊本市中央公民館1階「しらかわのほとり」で開催し、限定100食のカレーライスなどを提供しており、子ども達からも「とっても美味しい！」「みんなで楽しく食べた！」と好評です。

開催にあたり、火の君マルシェ出荷者の皆様、九綜共栄会様からの食材や消耗品のご協賛、そして弊社学校給食調理スタッフのボランティア協力により継続的に実施することができ、心より感謝申し上げます。毎月第1土曜日に開催しております。皆様もぜひ一度お立ち寄りください。(永田)



～特集～ 『組織開発』

組織開発とは？

同僚や上司・部下、または他組織の人(顧客)など、その関係性を改善し組織を活性化させる取り組みを経て明らかとなった課題を、従業員一人一人が当事者意識を持って解決へと向ける。人と人の関係性の変化と相互作用によって組織を変革させていくという考え方です。

社内コミュニケーションが取りやすい環境

社内でコミュニケーションが取りにくい環境だと、良好な人間関係を築くのが難しくなります。特に新型コロナウイルスの蔓延以降に人と直接会話をする機会が極端に減り、対話不足による同僚や部下、お客様との関係性にすれ違いが生じる事例が見受けられます。実例として「日頃、挨拶や声掛けで、コミュニケーションを取っているつもりだったが、相手は不平不満の相談が出来ず、ギクシャクしてしまった。さらにはお客様にもご心配をおかけした」等、もう一步踏込んで相手の立場に立って十分に話を聞き、相談・連絡・確認を行えば防げた事例が起こっております。このような問題を解決するために『組織開発』に尽力し、エンゲージメント(会社への愛着心)を高める為の具体的な取り組みを実行してまいります。

【ハード面での取り組み】

組織 経営理念や経営ビジョンの策定
社内規定や人事制度で一貫性のある
基準や運営の仕組みの整備

職場 業績
業務システムで仕事を効率化

個人 個人目標やルール of 策定
役職の付与
責任及び権限を与える
管理職の役割を明確化させる

【ソフト面での取り組み】

組織 直接対話で風通しの良い環境を作りスムーズな
部門間連携を可能とする。また、各組織の長による
強いリーダーシップを発揮し、組織風土や持ち
味を活かす組織を作り上げます。

職場 双方向にコミュニケーションを取ることでより
良い職場の雰囲気構築し、どんな困難にも立
ち向かっていける協力体制を築き上げます。

個人 従業員サーベイにより掘り上げた思考パターンや
意識、個別面談等にて抱えている不満や不安を
改善させることで仕事に対するモチベーションを
高め、会社に対するエンゲージメントを向上させ
ていきます。

【具体的な取り組みとして】

①問題の見える化～組織の問題を「可視化」する～

各現場において理想の環境と現在の状況、その差の実態・原因の分析をおこなう。アンケートやストレスチェック等にて従業員に対する意識調査を実施し、問題点をはっきりとさせる。

②対話～「可視化」された問題について真剣に対話する～

①にて可視化された問題を解決するため定期的に個別面談等をおこない、実際に膝を突き合わせて対話をおこなう。不満や不安に思った事を掘り上げ問題解決に向け双方向にて改善策を出し合う。

③未来作り～これからどうするのかを決める～

②にて出た改善策を実施していく事で従業員の仕事に対するモチベーションを高め、職場環境を整えることで楽しく、また、長く働ける現場を作り上げていく。

組織開発から繋げるウェルビーイング

ウェルビーイングとは、社会と健全なつながりを持ち心身共に良好なことを言います。心身の健康のみならず、職場や仕事に対する満足度・幸福度・モチベーションの高い状態を表します。「心身ともに健やかに働ける環境」「自分らしく、能力が発揮できる環境」「不当に抑圧されない環境」を作り、従業員一人一人が最大のパフォーマンスを発揮できる会社として第51期も駆け抜けてまいります。(川原)

TOPICS

令和5年度『入社式・辞令交付式』

令和5年度入社式・辞令交付式が本社にて執り行われました。今年度は中途採用含む20名が新たに入社いたしました。尾池社長より「皆さんと共に働くことを誇りに思います。当社3事業部すべてが人の手による仕事を中心。お客さまにとって皆さんが会社の看板であり、皆さんの仕事ぶりを見て当社を評価される。昨年8月には50周年を迎えた。先輩方が作ってこられた実績と伝統を大事に『挑戦と連携』を合言葉にさらに企業価値を高めていきたい」と祝辞がありました。新入社員の皆さん、共に力を合わせて頑張りましょう。(川原)



【謝辞 園田桃子栄養士】

春の叙勲『瑞宝双光章』を受章



令和5年5月、春の叙勲で後藤正廣さんが瑞宝双光章を受章されました。後藤さんは昭和43年から平成21年までの42年間、熊本県警察官として職務に精励され、警察本部や警察署など延べ24所属で勤務し平成21年3月熊本東警察署長を最後に定年退職。平成30年4月からトータルコーディネーターとして九綜に勤務。警察関係のお客様を中心に幅広い業務に精通しキャリアを生かしたアドバイスや指導をいただいております。受章誠におめでとうございます。(伊藤)

松屋別館 2階フロアをリニューアル『ラグジュアリーサウナ&スパ 湯屋水禅』

松屋旅館の別館2階フロアが「ラグジュアリーサウナ&スパ 湯屋水禅」として4月24日にリニューアルオープンされました。サウナを備えた大浴場に加え、プライベートサウナ、コワーキングスペースがあり、ワンランク上のプライベート空間が演出されています。阿蘇の溶岩石を使ったサウナストーンにアロマ香る水を掛け蒸気を発生させるセルフフローリウウ方式のサウナ。サウナと檜風呂の心身の疲れを癒すくつろぎの空間で、皆様もぜひ一度「ととのう」をご体験ください。(川原)



(一社) 熊本県警備業協会 尾池能副社長が警備業功労者表彰



【尾池能副社長】

令和5年6月14日熊本テルサにおいて、令和5年一般社団法人熊本県警備業協会定時総会が開催されました。総会では警備業協会理事を永年務められた功績で、尾池能副社長に、警備業功労者の表彰状が授与されました。また、瀧本直樹さん(熊本中央病院勤務)と上田武治さん(熊本市中央公民館勤務)の2名が優良警備員表彰を、白石安幸さん(ウエルパルクまもと勤務)が永年勤続表彰を受けました。

◇瀧本直樹さん「コロナ禍では、救急車受入れ時に、防護服を着用して患者を搬送する等緊張した勤務を経験しました。今後も安全で高いレベルのサービスを提供しお客様の信頼を獲得してまいります。」

◇上田武治さん「中央公民館を安心して利用していただけるよう、日々努力してまいります。」

◇白石安幸さん「永年の経験を活かし、これからも頑張っていきます。どうぞよろしくお願い致します。」

との言葉をいただきました。受賞された皆様の今後のご活躍を期待しております。(枇榔)

編集後記

この度、おかげさまで第86号の綜友が完成いたしました。猛暑日が続きますが、熱中症対策、新型コロナウイルス感染予防は勿論のこと、体調管理にも十分に気を付けて暑い夏を乗り切りましょう!

[編集部：川原、伊藤、米岡、永田、枇榔]